

初公開

勝山の

近代弓木

町並みをたどる

勝山城博物館・
勝山市連携第九回共催展

引札「西野米松」(部分) 個人蔵

時代を映す
デザイン。

2023
9/23 [土]
12/10 [日]

[会場] 勝山城博物館4階企画展示室
[開館時間] 午前9時30分～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

[休館日] 毎週水曜日

[入館料] 大人1000円、小中高生500円

※団体20名以上は2割引

※勝山市在住の方はご住所がわかるものを
お持ちいただくと2割引となります。

主催 ● 公益財団法人多田清文化教育記念財団 勝山城博物館・勝山市



勝山市連携協力施設

勝山城博物館

公益財団法人 多田清文化教育記念財団

F911-0822

福井県勝山市平泉寺町平泉寺85-26-1

TEL 0779-88-6200

勝山城博物館

検索



初公開 勝山の近代引札

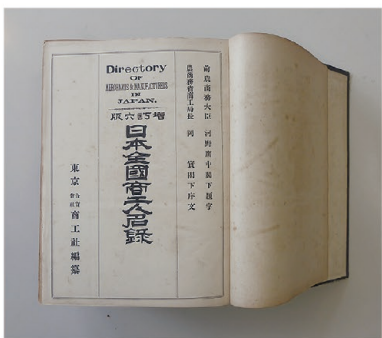
勝山城博物館・勝山市連携第九回共催展

町並みをたどる

勝山城博物館・勝山市の第九回共催展は、当時の社会を反映したデザインから近年注目を集めている引札を展示します。引札とは、江戸時代に新たに登場してきた刷り物による広告で、現代のチラシにあたります。商店の宣伝や売り出しを知らせるために広く配布されました。一枚一枚の中に客の関心を引きつける艶やかな絵柄や、心を浮き立たせる文言などが巧みに織り込まれているのがその特徴です。

引札は江戸時代後期から大正時代にかけて流行しました。各商店が得意先への正月の挨拶と共に配ったもので、錦絵の技法を取り入れた艶やかな色彩と大胆な構図は、見る者を魅了します。

引札は、新聞が各地で発刊されるようになり、折り込み広告や掲載広告が一般的になるにつれて姿を消していきましました。しかし、引札には当時の世相や風俗が色濃く反映されています。また見て美しい芸術作品としても扱われており、勝山にも近代の引札が数多く残っています。本展では、勝山に現存する初公開の引札を中心に展示し、「引札の美」をお楽しみいただくとともに、勝山の商家・町並みの変化を看板・双六・各種資料などとともにご紹介するものです。



日本全国商工人名録 個人蔵



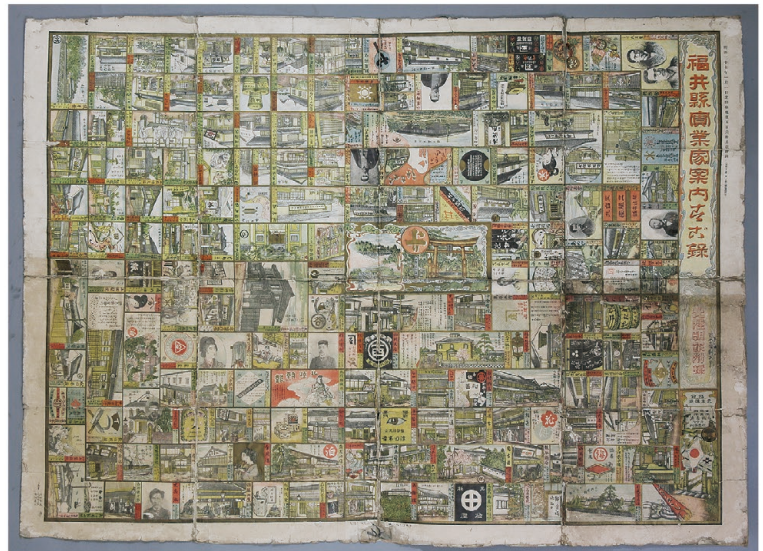
引札「波多野商店」個人蔵



引札「西野藤市」個人蔵



看板「福助足袋」個人蔵



福井県商業家案内双六 (勝山市指定文化財) 明治37年 個人蔵

EVENT

引札について

講演会

講師 蔵本 敬大氏 (勝山城博物館 学芸員)
9月24日 (日) 13時30分～
2階階壁画ホール (予約制: 先着30名)

お電話で予約を受け付けます。
Tel.0779-88-6200
講演会聴講は無料
(入館料は必要です)

引札・人名録から見る町の変遷

—勝山の事例を中心に—

講師 山田 雄造氏 (勝山市商工文化課 市史編纂室)
10月14日 (土) 13時30分～
2階階壁画ホール (予約制: 先着30名)

展示解説

10月7日 (土)、11月12日 (日)、12月2日 (土) 14時より、担当学芸員が行います。展示のみどころを解説します。(事前申込不要、入館料のみ必要です)

関連イベント

勝山町めぐり、見学会

11月11日 (土) 10時～
集合場所: 勝山市役所前駐車場
(予約制: 先着20名)

お電話で予約を受け付けます。
Tel.0779-88-6200
参加費は無料

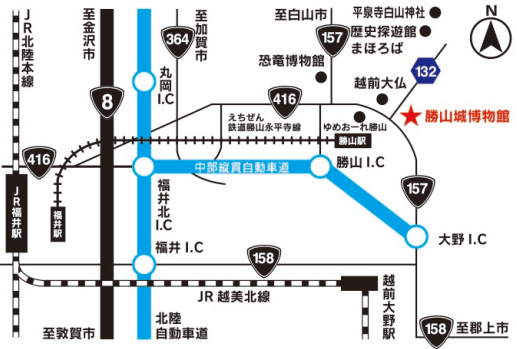
ACCESS

鉄道ご利用の方

JR福井駅からえちぜん鉄道勝山永平寺線で勝山駅下車
→市内循環バス「ぐるりん南部方面」「平泉寺・猪野瀬予約便」
「恐竜バスダイナゴン」にて「勝山城博物館」下車、徒歩3分
→タクシーで10分

お車ご利用の方

中部縦貫自動車道勝山インターチェンジより
国道157号線を東へ15分 (無料駐車場あり)



勝山市連携協力施設
勝山城博物館
公益財団法人 多田清文化教育記念財団



〒911-0822 福井県勝山市平泉寺町平泉寺85-26-1
TEL 0779-88-6200

勝山城博物館 検索

新型コロナウイルス感染防止のため、今後の状況により予定を変更する場合がございます。最新の情報は当館ホームページでご確認下さい。